

地域防災

地域ぐるみで支え合いましょう

大災害が発生したとき、交通網の寸断などにより、防災機関が十分に対応できないおそれがあります。そんなときに頼りになるのが「地域ぐるみの協体制」です。日ごろから地域の防災活動に参加することが、自分の家族や家を守ることに繋がります。

自主防災活動に参加しましょう

平常時の活動

防災知識の普及・啓発

防災訓練や講習会を通じて、正しい防災知識を住民に伝える。

防災資機材の整備・点検

地域の実情に応じて、消火用具や避難・救出のための防災資機材を準備する。

自主防災組織の活動でまず重要なのは、防災上の知識、活動の必要性や重要性を一人ひとりに理解してもらうことです。



地域の見回り・点検

地域内の危険箇所や防災上の問題点を洗い出し、防災マップや避難経路を見直す。

防災訓練

いざというときのために、地域一丸となって訓練を重ねる。

災害時の活動

情報の収集・伝達

公的機関と連絡を取り合い、情報を住民に伝える。

救出・救助

負傷者や倒壊した家屋などの下敷きになった人たちの救出・救助を行う。

初期消火活動

出火防止や初期消火活動をする。

自主防災組織は、非常時の応急活動の目標として、主に次のような活動を想定しているケースが多く見られます。



医療救護

負傷者の応急手当を行い、救護所へ移送する。

避難誘導

住民を避難所などの安全な場所に誘導する。

避難所の管理・運営

避難所で給食・給水活動などをする。

消防団とつくる地域防災

消防団は「自分たちの地域を災害から守りたい」という強い気持ちを持った方々で結成する、地域に深く根ざした組織です。

大規模な災害が発生した場合に、どうすれば地域の被害を軽減できるのかについて、地域の集会や自主防災訓練などの際に消防団と話し合い、顔の見える関係を築きましょう。



防災士とは

防災士とは十分な防災意識と一定の知識・技能を修得していることを日本防災士機構が認証した人です。

地域の防災力向上を目指し、自主防災組織等のリーダー的存在として防災意識の啓発や防災訓練等のさまざまな場で活動しています。